

第3章 設定

- LAN Server J3.0, J4.0/WarpServer

プリントサーバー・カードをOS/2 LAN Serverで使用するには次の2つの形態があります。

- 1) プリントサーバー設定ユーティリティ(2)の“PRMAN”プログラムによって NetBIOSで接続する。
- 2) TCP/IP for OS/2の LPD機能を利用する。

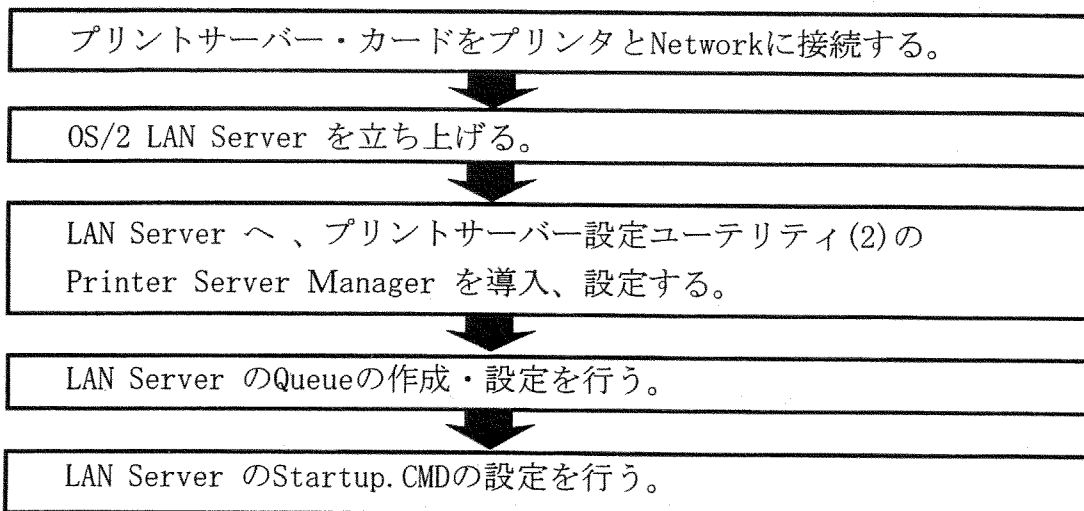
これらは LAN Server Ver. J3.0、 J4.0、 WarpServerで使用可能です。使用されるOS/2は Version 2.1以上をお使いください。

1)のNetBIOS接続ではプリントサーバー・カードおよび“PRMAN”プログラムを導入したServerがNetBIOS Datagram Packetを発信します。このため、大規模LAN、WANでプリントサーバー・カードを大量に導入される場合はネットワークのパフォーマンスの低下や、WAN回線のトラフィックが増加することがあります。その場合、ブリッジ、ルーター等でFilterをかけるか、2)のTCP/IP for OS/2での接続で使用されることをお勧めします。ただし、TCP/IP接続の場合、OS/2上でキューにスプールするのに時間がかかるため、スループットが低下することがあります。どちらの接続形態であってもServer機のメモリーは余裕をもたせてください。少なくとも24MB以上必要です。またServer上のアプリケーションや接続リクエスター数によってはさらに追加が必要な場合があります。メモリーが不足すると印刷時に障害が起きることがあります。

3.1 NetBIOS接続の設定

3.1.1 導入概略

導入 概略は次の通りです

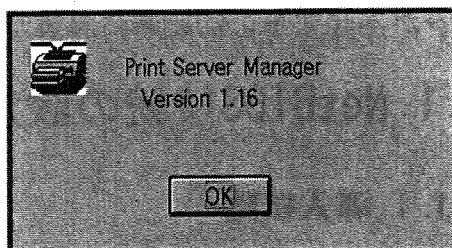


3.1.2 導入作業

1. プリントサーバー・カードをネットワークとプリンターに接続し、電源ON。
2. プリンターが印刷可能状態であることを確認し、プリントサーバー・カードの TEST ボタンを Network LEDが点滅するまで押してください。
ネットワーク情報の記されたTEST印刷が出力されます。出力された用紙は後ほど使用します。(注意：HBPプリンターでは印刷は使用できません。省略して下さい。)
3. OS/2 LAN Serverが立ち上がっていない場合は立ち上げてください。
4. OS/2 LAN Server → Printer Server Managerを導入します。
 - (1) Server上でコマンドプロンプト(全画面または、窓)を立ち上げます。
 - (2) プリントサーバー設定ユーティリティをDiskette Driveへ入れます。
 - (3) Drive を A:、Directoryを Prmanへ変更後 INSTALL.EXEを実行します。

```
[C:¥]A:  
[A:¥]cd prman  
[A:¥prman]install
```

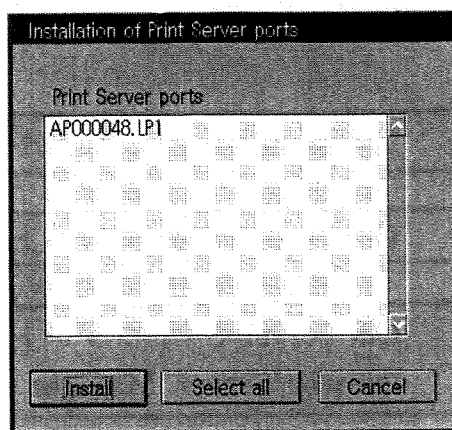
- (4) Install プログラムに従ってプログラムの導入先ドライブ、ディレクトリを入力してください。



- (5) 自動的にPrinter Server Managerが立ち上がり右のような画面が表示されます。

[OK]をクリックしてください。

- (6) 約30秒から1分後に 右のようにネットワークに接続されているプリントサーバー・カードが



AP + シリアルNo. 下6桁 + ポート番号(LP1)の形式でリストアップされるので、設定するものをクリックして反転させ[Install]をクリックしてください。

なおリストアップされるポート名は 手順2.で印刷した中の

```
Microsoft Networks and LanServer/LanManager: enabled  
Printer name : APnnnnnn.LP1
```

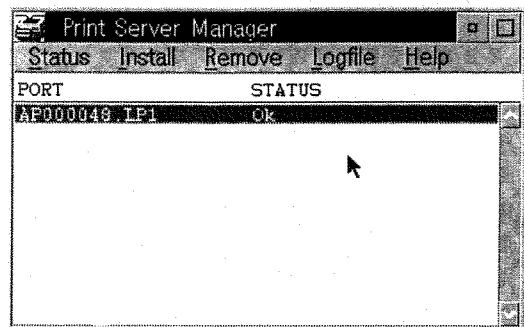
の “Printer name” です。“nnnnnn” は本体シリアル番号下6桁です。

“Printer name”はNetPilotで変更することができます。変更方法は第7章 プリントサーバー設定ユーティリティの使用方法を参考にしてください。

また、接続されたプリントサーバー・カードがNew Unitにリストアップされない場合はプリントサーバー・カードがネットワークに接続されているか確認してください。

また、NetBIOS透過されているネットワーク上のプリントサーバー・カードはすべてリストアップされますので、設置しようとしたプリントサーバー・カード以外のものが存在してもほとんどの場合、問題はありません。

- (7) Installすると 右図のようにPrinter Server Managerの画面上にポートが表示され 接続されているプリンターが 印刷可能状態であれば“OK”が表示されます。



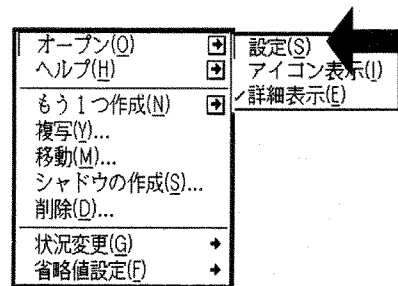
“Off Line” または “Out of paper” の場合はプリンターをチェックしてください。

以上でPrinter Server Managerの導入は終わります。

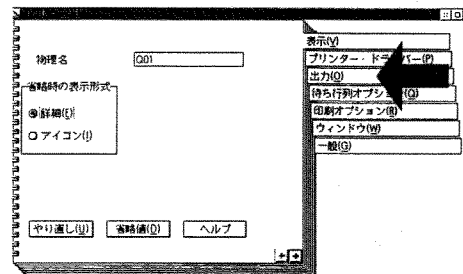
5. LAN ServerのQueueへの設定をします。

- (1) Queueを作成する場合は OS/2及び LAN Serverのマニュアルを参考に作成、共有化を行ってください。

- (2) 設定するQueueの上にマウスを移動し 右ボタンをクリックし[オープン], [設定]をクリックして設定画面をオープンしてください。

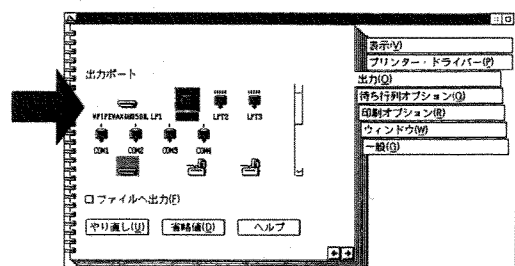


- (3) 「出力」をクリックします。



- (4) 出力ポートの中に [¥PIPE¥APnnnnnn.LP1]が作られているのでクリックします。

設定画面をCloseさせて設定は終了です。



6. リクエスターより設定したQueue へTest出力を行ってください。
7. LAN ServerのStartup.cmdの編集を行います。
 手順4. でPrinter Server Managerを導入した際、Startup.cmdに“PRMAN.EXE”を追加するを [Yes]にした場合でも編集を次のようにしてください。

・変更前

```
NET START SERVER
@EXIT
SET PRMAN=C:¥PRMAN
START C:¥PRMAN¥PRMAN.EXE -M
```

・変更後

```
NET START SERVER
SET PRMAN=C:PRMAN
START C:¥PRMAN¥PRMAN.EXE -M
@EXIT
```

以上で導入作業は終了です。

3.1.3 プリントサーバー・カードを追加する場合

プリントサーバー・カードを追加する場合はプリントサーバー・カードをネットワークに接続して電源を入れてください。

しばらくそのまま(3-5分程度)待ち、Printer Server Managerの画面の[Install]をクリックしてください。

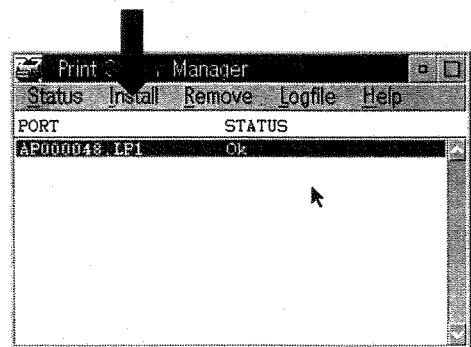
接続したプリントサーバー・カードがリストアップされるので3.1.2 導入作業 4. (6)以降を行ってください。

なおうまくリストアップされない時はPrinter Server ManagerをCloseし、OS/2 プロンプトより

```
[C:¥]set prman=c:¥prman
```

```
[C:¥]start C:¥prman¥prman
```

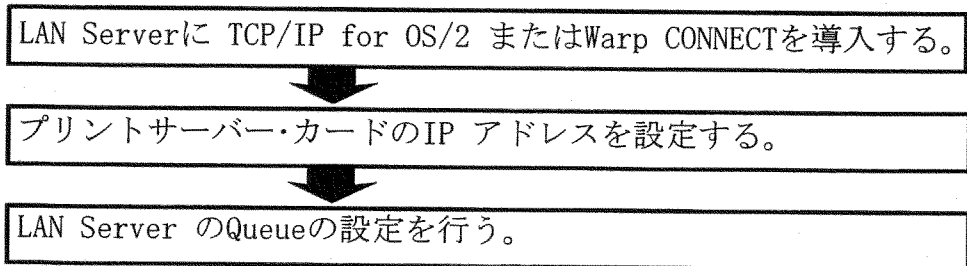
を入力してPrinter Server Manager を再立ち上げしてください。



3.2 TCP/IP接続での設定

3.2.1 設定概略

設定概略は次の通りです



3.2.2 設定作業

1. LAN Server に TCP/IP for OS/2またはWarp CONNECTを導入・設定する。作業は TCP/IP for OS/2またはWarp CONNECTのマニュアルを参照してください。
2. プリントサーバー・カードの IP アドレス を設定します。

- (1) プリントサーバー・カードをネットワークとプリンターに接続し電源を立ち上げます。
- (2) プリントサーバー・カードのTEST ボタンを Network LEDが点灯するまで押してください。

TEST印刷が出力されます。

- (3) LAN Serverで コマンドプロンプトをオープンします。

ARPコマンドを発行します。

```
[C:¥tcpip¥bin]arp -s (IP address) (Node Address)
```

ここで IP addressは 設定する address、Node Address は (2)の TEST印刷の

```

-----
| TCP/IP: enabled
| Node address      Internet address  Default router  Net mask
| xx:xx:xx:xx:xx:xx  192.36.253.80   <automatic router sensing>
|-----
  
```

のNode Addressです。例えば、

```
IP address   : 192.1.2.80
```

```
Node address : 00:02:31:c8:15:43
```

の場合

```
[C:¥tcpip¥bin]arp -s 192.1.2.80 00:02:31:c8:15:43
```

となります。

- (4) プリントサーバー・カードの電源をOFFし、再び電源を入れてください。
- (5) 数分内に設定が自動的に終了しますので(2)のTEST印刷をしてIP Addressが変更されていることを確認してください。

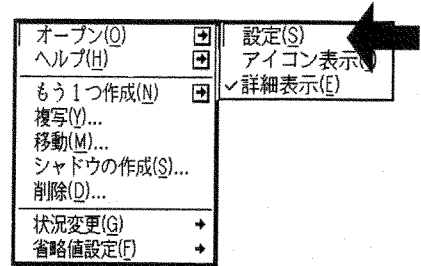
注：設定作業はLAN Serverとプリントサーバー・カードは同一セグメントのネットワーク上で行なってください。

どうしてもうまく設定できない場合は第7章 LANカード設定ユーティリティ (NetPilot)でIP Address, Net MASK等を設定してください。

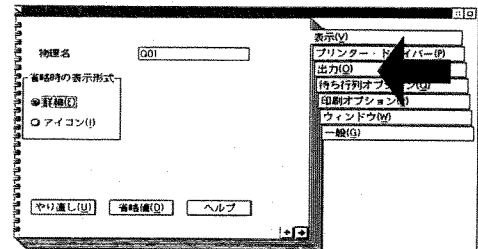
3. LAN ServerのQueueへの設定をします。

(1) Queueを作成する場合は OS/2及び LAN Serverのマニュアルを参考に作成、共有化を行ってください。

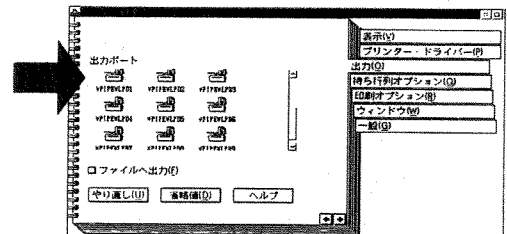
(2) 設定するQueueの上にマウスを移動し右ボタンをクリックし[オープン], [設定]をクリックして設定画面をオープンしてください。



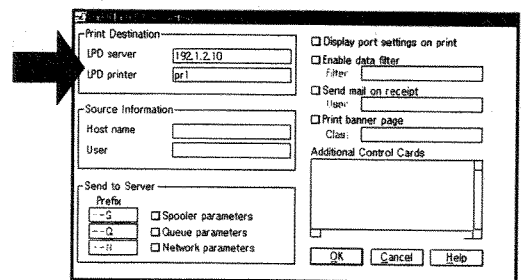
(3) 「出力」をクリックします。



(4) 出力ポート上にLPDアイコンが作成されているので設定する LPD をダブルクリックしてください。



(5) LPD 設定画面が表示されるので [LPD Server]へ プリントサーバー・カードの IP Address
[LPD Printer]へ プリントサーバー・カードのポート名(PR1)を記述して設定画面をCloseしてください。



右図は LPD Server : 192.1.2.10, LPD Printer : PR1 で設定したものです。

4. コマンドプロンプトより LPRPORTD.EXEを実行してください。LPDを使用する場合LPDPORTD.EXEが稼働していることが必要です。詳細はTCP/IP for OS/2のマニュアルを参照してください。

リクエスターより設定したQueueへTest出力を行ってください。

以上で終了です。

3.3 OS/2をサーバーにしてPRMANを使用した場合の注意

■ Printerの電源がOFFの場合にはジョブの削除はできません。削除してしまった場合はPrinterの電源を入れるか、PRMAN.EXEを立ち上げ直してください

■ OS/2にはプリントキュー関連で現在下記のような不具合があります。修正するには日本IBMより修正モジュールを入手してください。(修正モジュールにはCSDとPTFと呼ばれるナンバーがついています)

(1) プリントジョブがキューの中につまってしまう場合がある。

OS/2 J2.11 : PJ22668

OS/2 J2.11 for SMB : PJ22667

(2) ジョブを削除すると、その後、プリントアウトできなくなる。

OS/2 Warp V3 : CSD No. WX00903 PJ21729

OS/2 Warp CONNECT : CSD No. WX00903 PJ21729

(3) 2つのキューのジョブデータが混ざって印刷される。

OS/2 Warp V3 : CSD No. MJC0003 PJ16487

■ 印刷中のジョブの削除か取消を行った場合、プリントジョブがキューの中につまる場合があります。

(1) プリントサーバー・カードの電源を入れ直してください --> だめならば(2)へ

(2) PRMAN.EXEを立ち上げ直してください -----> だめならば(3)へ

(3) OS/2 を立ち上げ直してください